

令和4年度事業計画

1 基本方針

新型コロナウイルス感染症は、発生から2年以上が経過しましたが、世界中で今もなお猛威を振るっています。我が国においてもワクチン接種が進み、ひと頃に比べると徐々にではありますが日常生活に明るい兆しが見えるものの、新たな変異株が次々に発生し、経済活動はまだまだ不安定な状況です。

内閣府が発表した令和3年（2021年）版の高齢社会白書によると、日本の65歳以上の高齢者人口は3,619万人となり、高齢化率は28.8%と世界でも飛び抜けて高い率となっています。今後は支え手の負担増と地域の人手不足が深刻化し、シルバー人材センターの社会的意義はますます高まっていくことが予想されます。

その一方で、働き方改革の推進により65歳定年制が導入されたことに伴い、全国的にシルバー会員の入会者は減少しており、また、事業者においては、不合理な待遇差を解消するための規定等の整備や労働者の事情に応じた多様な働き方への対応が求められるなど、シルバー人材センターを取り巻く環境は、ここ数年間で大きく変化しています。

令和3年度の事業実績は、請負事業を中心に契約額が回復し、僅かではありますが前年度を上回る結果となりました。しかしながら、経済活動は依然として低迷しており、コロナ禍前の水準に戻るには時間を要し、先行きは不透明な状況となっています。

こうした厳しい状況下ではありますが、当センターは昭和57年1月26日の飯能市高齢者事業団設立から40周年の節目を迎えることができました。これまで先人達が築き上げてきた功績に対し、改めて敬意を表するとともに、長きにわたり受け継がれてきた「自主・自立・共働・共助」というシルバー人材センターの基本理念を再認識し、次の50周年に向けての第一歩となるよう役職員一丸となって業務に取り組んでまいり所存です。

今年度の主要施策としては、①会員の増強、②就業機会の確保と創出、③会員満足度の向上、④安全及び適正就業の徹底、⑤経営基盤の強化の5つを大きな柱として掲げ、地域社会に信頼されるシルバー人材センターとして、事業の推進と組織の活性化を図ってまいります。

2 事業計画

(1)会員の増強

高齢者人口は急速に増加していますが、働き方改革の推進による定年延長等の影響で、シルバー人材センターの会員数は全国的に減少しています。

当センターにおいては、会員数は着実に増加しているものの、新規入会者の年齢は年々上昇しており、また、作業の主力となっている会員の平均年齢も高齢化している状況です。

今後も安定して事業を継続していくためには、次の主力となる会員を育てていく必要があることから、引き続き、会員の増強を最重要課題とし、新入会員の確保に取り組んでまいります。

取組事項	○チラシ、市広報、ホームページを活用した啓発 ○入会促進キャンペーンの実施 ○入会説明会の開催 ○イベント等での普及啓発活動の実施
------	--



目標値	年度末会員数	485人
	上記のうち女性会員数	115人

(2)就業機会の確保と創出

正規職員及び就業開拓員が中心となって新たな就業先を開拓するほか、既存就業先への訪問や情報収集を継続的に行うことで、就業機会の確保と創出に取り組めます。

また、会員のニーズや就業状況を的確に把握し、希望に沿った就業先を紹介するとともに、就業希望の多い職種には分業制や定年制を導入するなど、会員に対し公平・公正な就業機会を提供することで、就業率の向上に努めてまいります。

取組事項	○就業先への訪問と情報収集の実施 ○就業に関するチラシを活用した啓発活動 ○分業制や定年制の導入による就業機会の確保 ○未就業者を対象とした就業紹介の実施
------	--



目標値	年間契約額(請負+派遣)	2億1千万円
	就業率(請負+派遣)	90%

(3)会員満足度の向上

シルバー人材センターの目的の1つである高齢者の生きがいの充実と社会参加の推進を図るため、社会奉仕活動への参加や会員のニーズに即した福利厚生事業を定期的に実施します。

また、昨年度に実施した会員アンケート調査の結果を踏まえ、業務の改善や見直しを適宜行うほか、就業等に関する情報提供の充実を図るなど、会員満足度の向上に積極的に取り組んでまいります。

取組事項	○福利厚生事業の実施(女性会員の集い、趣味の講座など) ○会員アンケート調査結果の業務への反映 ○事務局だよりやホームページの充実 ○創立40周年記念事業の実施
------	---



目標値	福利厚生事業の開催	年6回以上
	アンケート結果の業務への反映	3項目以上

(4)安全及び適正就業の徹底

近年は、会員の就業中におけるケガや事故が多く発生していることから、安全委員会や産業医と連携し、就業パトロールや健康チェック等を実施し、安全就業に対する周知徹底を図ります。

また、安全運転に関する意識啓発や就業に必要な機械や道具の正しい使用方法を学ぶことで、安全かつ適正な就業につながっていくことから、引き続き、希望者を対象とした各種講習会を実施し、就業時における事故防止に努めてまいります。

取組事項	○安全及び適正就業の周知徹底 ○安全対策の実施(就業パトロール、ドライブレコーダーの設置など) ○技能講習会の開催(植木剪定・除草作業講習会など) ○安全委員会や産業医との連携
------	---



目標値	就業中の事故削減(事故件数)	前年度以下
	技能講習会の開催	年3回以上

(5)経営基盤の強化

公益社団法人としての社会的役割と責任を認識し、法令順守の観点から適切な事業運営を行います。

また、令和4年度は「第1次中期計画」の最終年度となるため、新たな5年間の事業計画となる「第2次中期計画」の策定に向けて、現状や課題を整理するとともに、今後の社会環境の変化に柔軟に対応できる組織体制の整備や財源方策を検討し、将来にわたり持続可能な経営基盤の強化を進めてまいります。

取組事項	○未収金の回収強化 ○業務の効率化による経費削減 ○インボイス制度導入に向けた対応の検討 ○役職員の研修会への参加 ○第2次中期計画(案)の策定
------	--



目標値	未収金回収率	99%以上
	第2次中期計画の策定	策定